

# 横浜市立左近山中学校 令和3年度 学力向上アクションプラン

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
<p>～優しさ 思いやりを柱に～ 未来を創る力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上 (知)</li> <li>・健やかな心と体 (徳・体)</li> <li>・社会の一員としての自覚と責任 (公・開)</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者と議論できる知識</li> <li>・受信した知識を整理し、他者に発信する力</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を発見する力と、それに向けた解決方法を複数提示し、良いものを選択できる力</li> <li>・課題解決のための計画を立て、進捗状況を確認し、進める力</li> </ul> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決のための計画を立て、それに向けて周囲と連携し、協働しようとする態度</li> <li>・自身の心と体を大切にしつつ、相手の立場を理解しながら自分の意思を示す態度</li> </ul>

### (2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○学習の習慣化に向けた環境整備と具体的な支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校司書との連携と学級文庫の充実を通して、読書活動や図書室利用の質的充実を図る。</li> <li>・放課後と長期休業に学習支援の場と時間を設定し、自主学習を支援する。</li> </ul> <p>○家庭学習の習慣化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副教材を利用した家庭学習を推奨し、保護者への定期的な情報提供によって家庭学習の習慣化と定着を図る。</li> </ul> <p>○教科指導力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相互の授業参観や校外の研修会・研究会で指導技術の研鑽を積み、生徒一人ひとりの能力を高める授業実践を目指す。</li> <li>・課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びの実現を共通の目標とする。深い学び、対話的な学び、生徒自身が興味を持って取り組む主体的な学びが展開される授業実践を目指す。</li> </ul>

### (3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自らの課題を発見し、解決方法を考えるための対話的な授業づくり</li> <li>・課題の解決のために計画を立て、自ら学習を進め、振り返りを通して生徒の活動</li> </ul>
担当 学習指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校で目指す資質・能力の育成に向けた、校内の相互の授業研究・情報共有、小中連携</li> </ul>

## 2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握 (R2より)

### (1) チャートの分析

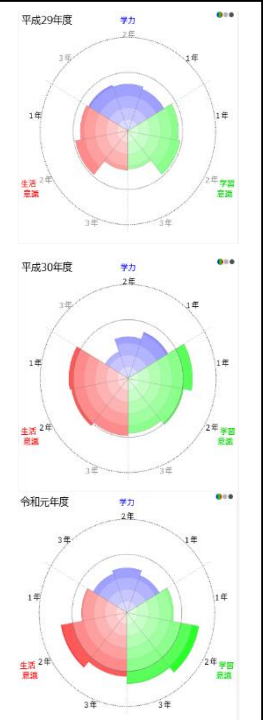
- 一部を除き、学力、学習意識、生活意識で、横浜市の平均を下回る状況が続いている。
- 睡眠時間は比較的確保されつつも、家庭学習の時間が少なく、スマホ等に費やす時間が多い傾向がある。多くの生徒は、睡眠はある程度確保しつつ、放課後の時間を学習ではなくネット環境を利用した自由利用に費やしていると思われる。
- 「19/自分によいところがある」に対して否定的な回答が、学年によって多くみられる場合がある。(「どちらかといえばを含めて) そう思わない」が 19/令和元年度第2学年で 26%/19/令和元年度第1学年が 43%)
- 令和元年度の学力層で見ると、全学年の全教科で、A層の生徒の割合が市を下回り、D層の割合は市を上回っている。

### (2) 教科学習の状況

- 国語科 : 文章からもの見方や考え方を読み取り、自分の考えを広げることに課題がある。
- 社会科 : 資料や会話文から必要な情報を取り出し、自らの考察に生かすことに課題がある。
- 数学科 : 基礎的な技能の習得に課題がある。特に関数領域の理解に課題がある。
- 理科 : 実験・観察の技能や、実験結果を基にしたグラフ化や数値計算に課題がある。
- 外国語科 : 学力層の分布が改善し、市のそれに近い。過年度同学年の中で最も良好ある。

### (3) 経年分析

- 令和元年度においては、学力、学習意識ともに、国語、数学、理科について改善がみられる。
- 同第3学年においては、学習意識、生活意識について3年間にわたり順次改善していた。



### 3 令和3年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>受信した知識を整理し、他者に発信する力</li> <li>進捗状況を確認して進める力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題作文やスピーチ発表の原稿作成など、指示に沿って他者に伝わる文章を作成する活動を取り入れる。</li> <li>学びを振り返る機会を計画的に設定し、生徒が一つの単元を通してどのような学びや変化を得られたか気づき、次の単元につなげようとする姿勢を育む。</li> </ul>	<p>カリキュラム・マネジメントの視点から、年度途中での見直しを図る。三期に分けることも考えられます。</p>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>答えのない間に対して、明確な根拠をもって判断し、それらを他者にわかりやすく伝えることができる力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>答えのない間に対して、明確な根拠をもって判断するに足る知識を身に着けさせる。</li> <li>判断した内容をグループワーク等で共有し、自分の考えをわかりやすく伝える経験を積み重ねさせる。</li> </ul>	
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>受信した知識を整理し、他者に発信する力</li> <li>課題を解決する力と問題解決のための計画を立て、進捗状況を確認し、進める力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。</li> <li>数量の関係や法則などを論理的に考察し表現する力、方法や結果を批判的に考察したりする力を育成する。</li> </ul>	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を発見する力</li> <li>課題解決のための計画を立て、進捗状況を確認して進める力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の学習で自ら問いを見出し、探究する活動を入れる。</li> <li>振り返りの機会を計画的に設定し、生徒が自らの課題に気づき、学ぼうとする力を育成する。</li> </ul>	<p>資質・能力の育成に向けた具体的な手立てを考えます。</p>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を発見する力</li> <li>周囲と連携し、協働しようという学びに向かう力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱や、器楽演奏などの音楽表現活動を通して、自らの課題を見出し、解決に向けた取り組みを行う。</li> <li>生徒同士で課題を見出し、解決に向けて協力して学ぼうとする力を育成する。</li> </ul>	
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決のための計画を立て、進捗状況を確認し、進める力</li> <li>受信した知識を整理し、他者に発信する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制作活動を行う中で、自分が表現したいものを計画的に創造していく力を身に付ける。</li> <li>鑑賞において、他者の作品の良さを受容し、それを相手に伝わるように、自分の言葉として表現する力を身に付ける。</li> </ul>	
保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を発見する力</li> <li>受信した知識を整理し、他者に発信する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己や仲間の課題を発見し、解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や組み合わせ方を工夫している。</li> <li>自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul>	
技・家	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を発見する力</li> <li>課題解決のための計画を立て、進捗状況を確認して進める力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業を通じて生じてきた課題をとらえ、解決の道筋を見つける力を育成する。</li> <li>振り返りの機会を計画的に設定し、生徒が自らの課題に気づき、学ぼうとする力を育成する。</li> </ul>	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識を整理し、他者に発信する力</li> <li>相手の立場を理解しながら自分の意思を示す態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションにおいて活用できる技能を育成する。</li> <li>主体的にコミュニケーション活動に取り組める活動を取り入れる。</li> </ul>	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識を整理し、他者に発信する力</li> <li>相手の立場を理解しながら自分の意思を示す態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共心、思いやりの心を育み、自身で考えたことを発信できる力を育成する。</li> <li>相手の気持ちを考えられる題材を用いて規範意識の育成に努める。</li> </ul>	

<b>特 活</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決のための計画を立て、それに向けて周囲と連携し、協働しようとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級や委員会における話し合い活動を通して、お互いの意見を尊重しつつ、問題解決のために協力することの大切さに気づき、自ら考え行動する力を育成する。</li> </ul>	
<b>総 合</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受信した知識を整理し、他者に発信する力</li> <li>・課題解決のための計画を立て、進捗状況を確認し、進める力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表活動を通して話を聞く、伝えることを重視する。</li> <li>・課題解決のプロセスを明示して、意図的に活用する。</li> </ul>	
<b>個 別 級</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決のために、周囲と連携し、協働する力</li> <li>・相手の立場を理解しながら自分の意思を示す態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の気持ちを考えながら、コミュニケーション活動に取り組めるような SST に取り組む。</li> <li>・発言だけでなく、自分の意見を様々な方法で発信する力を育成する。</li> </ul>	